経営比較分析表（令和3年度決算）

富山県　中央病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	500床以上	非設置
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	33	対象	透 Ｉ 未 訓 ガ	救 臨 が 感 災 地 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
1,037,319	66,174	非該当	非該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
665	－	16
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
50	2	733
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
584	－	584

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例

■　当該病院値（当該値）

ー　類似病院平均値（平均値）

【】　令和3年度全国平均

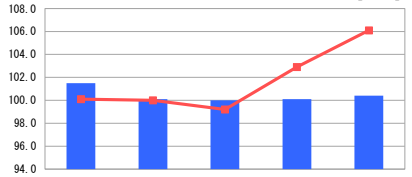
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

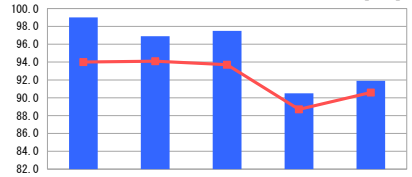
【106.2】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	101.5	100.1	100.0	100.1	100.4
平均値	100.1	100.0	99.2	102.9	106.1

②医業収支比率(%)

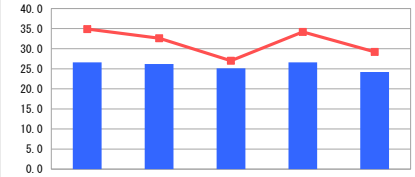
【86.6】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	99.0	96.9	97.5	90.5	91.9
平均値	94.0	94.1	93.7	88.7	90.6

③累積欠損金比率(%)

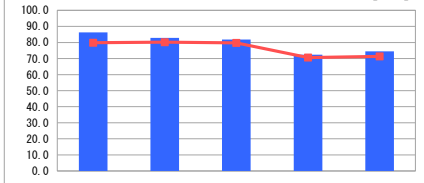
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	26.6	26.2	25.1	26.6	24.2
平均値	34.9	32.6	27.0	34.2	29.2

④病床利用率(%)

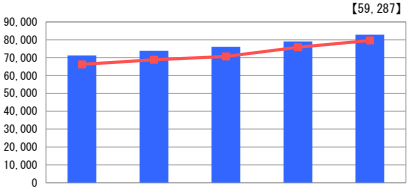
【67.1】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	86.3	82.9	81.8	72.4	74.5
平均値	79.9	80.2	79.8	70.6	71.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

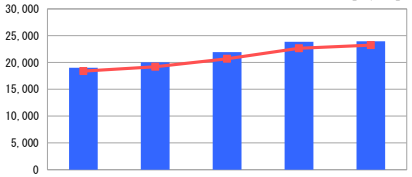
【59,287】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	71,258	73,856	76,110	79,057	82,831
平均値	66,228	68,751	70,630	75,766	79,610

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

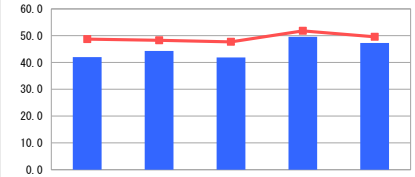
【17,202】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	19,027	20,044	21,937	23,863	23,944
平均値	18,393	19,207	20,687	22,637	23,244

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

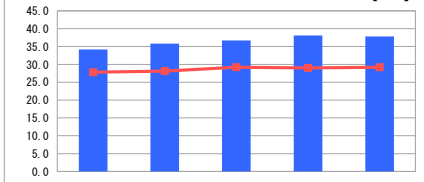
【56.4】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	42.0	44.3	41.9	49.6	47.3
平均値	48.7	48.3	47.7	51.8	49.6

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.8】

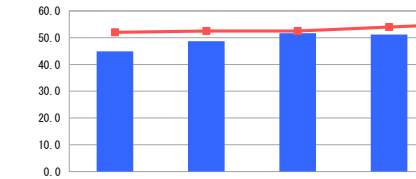


	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	34.2	35.8	36.7	38.1	37.8
平均値	27.8	28.1	29.2	29.0	29.2

2. 老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

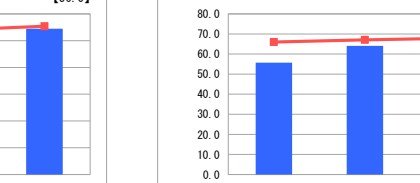
【56.0】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	44.9	48.7	51.7	51.2	54.5
平均値	52.0	52.5	52.5	54.0	55.4

②器械備品減価償却率(%)

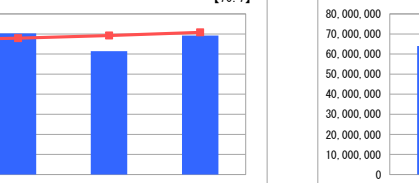
【70.7】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	55.7	64.1	70.3	61.4	69.2
平均値	66.0	67.1	67.9	69.2	70.8

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,765,843】



	H29	H30	R01	R02	R03
当該値	63,979,181	64,210,763	65,023,027	67,022,510	67,510,580
平均値	53,351,028	55,620,962	57,155,394	58,042,153	58,985,932

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ 地域において担っている役割

・救急・小児・周産期・災害・精神などの不採算・特殊部門に関わる医療の提供
・県立がんセンター等地域の民間医療機関では限界のある高度・先進医療の提供
・研修の実施等を含む、広域的な医師派遣の拠点としての機能

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・経常収支比率、医業収支比率
　令和３年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響から若干回復し、入院患者・外来患者が前年度より増加したことから医業収入が増加した。
　また、新型コロナ患者受入のための病床確保に伴う国からの補助金等により、経常収支については前年並みとなった。
・病床利用率
　前年に比べ入院患者数が増加したことから、利用率は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の流行前に比べ低い水準にある。
・入院患者１人１日当たり収益
　新規加算の取得等により増加傾向にある。

2. 老朽化の状況について

・有形固定資産減価償却率
　28年度に整備した先端医療棟に係る建物類の減価償却が始まったことから、29年度以降増加傾向にある。
・器械備品減価償却率
　前年度に更新した高額医療器械等の減価償却が始まったことから前年に比べ増加している。

全体総括

　新型コロナウイルス感染症の流行により医業収入は大きな影響を受けているが、国補助金の確保等により経営状況は過去と同水準を維持している。
　今後も新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況が見込まれるが、国補助金の確保や新たな診療報酬加算の算定、薬品費・診療材料費などの経費削減などに取り組むことで、さらなる経営の健全化に努めていく必要がある。